

函館のまちづくりを考える はこまち通信

Vol. **44**
2018年4月

発行/函館市地域交流まちづくりセンター



特定非営利活動法人 救命のリレー普及会



Bay Walk Community はこだて



函館と東京をつなぐシェアオフィス



救命手当で命の尊さを実感！

今月の市民活動団体

- 1 特定非営利活動法人 救命のリレー普及会
- 2 Bay Walk Community はこだて

お知らせ P2

- ・ 明治ホールディングスによるお菓子寄贈プログラム
みんなのさぽーター わっとな
- ・ NPO法改正にともなう貸借対照表・公告義務のお知らせ

もくじ

- P2~3 まちセンからのお知らせ
- P4 「移住サポートセンター」より
- P5 連載「気がつけば函館市民になっていた」
- P6~7 NPO・市民活動団体紹介
- P8 NPOワンポイントアドバイス/センター長のつばやき
- P9 どんぐり2号店/cafe Drip Drop
ご利用案内



明治ホールディングス株式会社・株主からの 明治のお菓子寄贈プログラム



障がいのある子どもを対象に活動している
団体へのお菓子の寄贈先として、函館市内
で児童デイサービスの運営などを行っている
「みんなのさぼーたー わっとな」さんを、
寄贈先として選定いたしました！
児童デイサービスと、学童保育所
に通う子ども達の“おやつ”や、
12月に開催した「親子クリスマス会」
のプレゼントとして活用されました！

NPO法改正のお知らせ（平成30年10月1日施行分）

平成30年10月1日以降、毎年、 貸借対照表の公告が義務付けられます！

定款変更は必要ありませんか？NPO法人の定款で「公告の方法」を確認してみよう！

「この法人の公告は、この法人の掲示場に掲示するとともに、官報に掲載して行う。」
となっている場合、官報への掲載費用が毎年発生します！
この場合、貸借対照表の公告方法を検討する必要があります。

「貸借対照表の公告方法」は、以下の4つの方法となります。（NPO法第28条の2第1項）

- ①官報に掲載する方法（法人負担の掲載費用が発生）
- ②日刊新聞に掲載する方法（法人負担の掲載費用が発生）
- ③電子公告による方法（法人のインターネットホームページ、内閣府ポータルサイトなど）
- ④法人の主たる事務所において公衆のみやすい場所に掲示する方法

※定款内容の変更は、社員総会で議決し、北海道への届けが必要です。

まちづくりセンターでは、

「貸借対照表・公告についてのNPO相談会」を開催します。
開催日：2018年4月8日（日） 場所：函館市地域交流まちづくりセンター
《予約制》お申し込み・お問い合わせ：まちづくりセンター（TEL：0138-22-9700）
※その他、NPOの運営等についての相談も受け付けます。

救命手当で命の尊さを実感!～後世に伝えるこの経験～

2017年10月中旬に、まちづくりセンターで体を動かし、その休憩中に70代の男性が意識を失い、心肺停止状態になりました。男性は所属する総合型地域スポーツクラブ「Bay Walk Community はこだて」の活動中で、その場にいた会員とまちづくりセンタースタッフが連携して、胸骨圧迫などの心肺蘇生を行い、まちづくりセンターにあったAEDを使用し、救急車が来るまでの約5分間、救命処置を行いました。

救急車到着後は、救急隊が男性に対し、救命処置を行い、救急車で病院に運ばれました。搬送中に、心臓が動き出し、男性は一命をとりとめました。

病院に到着後は、会話ができるまでに回復していました。



救命処置に携わった6人に、消防協力者として、函館市消防本部から感謝状が贈られました。(表紙の写真は、感謝状授与式の様子です)

～連携して、救命処置をした協力者の感想・コメント～

・Bay Walk Community はこだての会員より

救命処置を施す前に関係者が事前打ち合わせ等する余裕はありませんでしたが、それぞれ救命講習で得た知識や技能を暗黙のものと的確に発揮した結果とします。小沢真一会長

救命講習を受けて良かったと思いました。瀬川正雄さん

落ち着いて出来るように救命講習には度々、参加したいと思います。高橋豊美さん、

チームワークは大切なことです。発作後5分以内でできるように今後にかきたい。芝田稔さん

・まちづくりセンタースタッフより

一人では動揺するであろう事にも、それぞれの動きが連携できたことで、命が助かり本当に良かったと思います。大矢千穂

救命講習会での体験がいざという時の備えとなりました。準備・経験というものの大事さが身にしみました。谷口真貴

・救命講習会などを開催し、救命の裾野を広げる活動をしている特定非営利活動法人 救命のリレー普及会さんより

心肺停止という状態は年齢や性別や場所や時間や国籍などに関係なく誰にでも起こりえる症状です。救命手当は小学生高学年から高齢者まで、誰にでも出来る手技です。救命講習会の受講資格は一つだけ、「やる気」だけです。「大切な家族のため」に、「仲間のため」に、是非、受講してください。救命手当の技能は、全世界に通用するものです。田中正博理事長

AED(自動体外式除細動器)は、電気ショックを与えて心臓の動きを回復する機械です。

日本AED財団のホームページによると、日本では毎日多くの方が心臓突然死で命を失っており、その数は1年間で約7万人。一日に約200人、7.5分に1人が心臓突然死で亡くなっています。心肺停止後のAED使用率はたった4.5%です。勇気を持って一步を踏み出すことで、救われる命が多くあります。と掲載されています。

函館市内でAEDを設置している施設は、函館市ホームページによると、291か所あります。AEDの設置施設は増えてきました。もし倒れた人が心停止状態であると確認したら、施設のスタッフのみならず、その場に居合わせた人が救命処置をいち早くすることで、生存率や社会復帰を高めます。そうすることが、後遺症を残さないためにも重要です。

函館市には、救急車が9台(旧函館市内には6台)あります。救急車が到着するまでの時間は、平均8分です。119番通報をし、救急隊が到着するまでの8分間に何をすれば、いいのでしょうか?

その場にいた人による救命処置がその人の命を助けます。

もし、家の中で倒れてしまったら?

突然の心停止は、いつ、どこで、おこるかわかりません。その備えとして、救命講習会などに参加し、胸骨圧迫やAED操作、異物除去などの救命処置を継続的に学び、いざという時に活動できるよう準備しましょう。

救命講習会はグループや団体などの希望にあわせて開催しますので、お問い合わせください。

お問い合わせ:まちづくりセンター 電話0138-22-9700

移住サポートセンターより

函館に移住された方を紹介します。

函館と東京をつなぐ シェアオフィス

32年ぶりに函館にもどってきました。高校までいた函館は刺激のなさが物足りなく、一人できまに暮らしたいこともあり、函館を飛び出しました。東京で働き結婚し子供も生まれ、そこそこ給与をもらって、普通ならこのまま定年まで迎え、退職金ももらい、まあまあ生活が、80歳で死ぬとして、あと30年続く？待てよ、それでいいのかい？この会社で何を指すんだ？もしかしてお金に縛られてる？楽しい人生が待ってるのか？たくさんたくさん疑問がこぼれました。死を身近に感じ、残された時間で、自分にとって幸せな瞬間、瞬間を味わえるのか？このまま会社で仕事をすることで我慢を強いられ、疲弊して人生を終える予感が日に日に強くなり、8年ほどずっと仕事を辞めることを考えていたことをこの度ようやく実現させました。このように思うようになったのも2010年に函館の母が亡くなり、何年かぶりに帰ってきた時に、函館の時間の流れや音や

風景などがすっと感情の中に入ってきて、ここで生まれたことのありがたみを素直に感じる事ができた自分がありました。

そして、いつか函館に関する仕事で世の中の役に立ちたいなと漠然とおもったことが始まりでした。会社を辞めた後、すぐに法人を立ち上げましたが、函館で何をしていくのかはまったく決まっていなく、まずはなにをするかを探すことから始めました。長年の住宅のリフォーム経験から、住宅を購入してD&Yでリノベして自分のオフィスを構えよう、同じような人とオフィスシェアして予算を抑えようという考えまでできました。いざ函館に行くと目星をつけた物件の購入をしに不動産屋さんに行ったら、ちよつとその日に買い付けが入ると言われ、僕は唖然としました。困り、不動産の方に「函館と東京をつなげる」仕事を創り出すという自分の思いを伝えていたところ、NPOの方のお名前をお聞きし、お電話してみたところ、なにも決まっていない状態の自分に対し、快くお話を聞いてくれることになりました。商売抜きで真剣に話を聞いていただきアドバイザーまでしてくれ感謝しかありません。

ここから始まり、現在の大三坂ビルディングの2階に目ぼれし貸していただけることになり、人とのつながりを大切にし、人と話すことを基本的に丁寧に自分の考えを伝えていくよう

に心がけていました。色々な方とお話をしていくうちに、その方々がヒントを下さり、ピンと来た時に行動してを繰り返していくうちにこのシェアオフィスが出来上がりました。

こんな経験を先にした者として後の人のために、自分のような、函館で何かを始めたい人が大きなリスクを持たなくても、どついたらよいかわからなくても一歩前に踏み出せるきっかけとなつて、一緒に助走して、成功の確率を高めていく場がこのシェアオフィスなんだという考えの根幹となつていきました。

現在、ハーフ専門店を開いてそれで生活をしていきたい方が動き出しました。この先、ロス買い付けの古着セレクトショップを予定しています。自分の考えに共鳴してくださる方がいることに、驚きと、今後、函館で仕事を創り出していく人が増えていきそうな予感がしています。

函館は大都市と比べて、人との繋がりがやさしいし、都市がミミムムで便利だし、気候が温暖で地価が安い。観光客は多いけど、人口は減っており、商業的なチャンスが多く、住むにも安いから地価が上がらないうちの今からがいい時期なんだと感じています。

お金があつたら僕も西部地区に早く家を建てたいです。私自身は東京に家族があり、月に一度は帰っています。いわゆる二地域居住です。帰ると美術館や話題のショップに行き東京で

仕事をしていた時以上に楽しんでいきます。双方のいいところを気づかせてくれています。

移住は現在の世の中の流れですが、いきなり今の生活を別な都市に移すということは精神的なリスクが大きいです。将来的に好きな場所に住んでいくのが必要なステップです。その場所に函館を選んでもらえたならうれしい限りです。必要ならこのシェアオフィスをお使いくださいませ。最後は宣伝になってしまい失礼致しました。

金谷 貴明



函館大三坂オフィス

1人1時間1席300円～
Wi-Fi、有線LAN、複合機、
FAXなど

ご利用シーン
ショップ・仕事・相談会・勉強・
ミーティング・撮影など

電話 0138-84-8175
ホームページ
www.hakodateoffice.com/
インスタ
hakodate_daisanzaka_office
メール
takaaki_kanaya@imageconnect.jp



書店ゼロの自治体が 2割超という現実

近くに書店がないということとは

かつて函館にあった出版社の社長の未亡人に、偶然お目にかかったとがあります。その出版社は、私のやっている出版と比べるのは失礼なくらい、多彩なジャンルで、立派な本を、たくさん出されていました。

思わず「よくあれだけでも、よいご本をお出しになられたものですね」と申し上げたところ、「いえいえ、昔は函館にも本屋さんがたくさんありましたが、今は売るところがなく、たいへんでしよう」と、逆にねぎらいの言葉をいただきました。

うちの場合、書店だけでなく、まちセンのドリップ・ドロップさんはじめ、市内の喫茶店やホテル、土産物店にも置いてもらっています。ですから単純に、本が売れないのを書店が少ないせいにすることはできませんが、身近に書店がない、というところは、「フ

ラツと立ち読みをして、気に入った本があれば購入する」という機会をなくしているということだと思つくと、淋しさを感じます。

書店ゼロ自治体、北海道は全国一位

私が育つたのは大阪近郊で、各駅停車しか停まらない小さな駅が最寄り駅でしたが、駅前には書店が2軒あり、学校帰りや、電車で出かける前後など、当然のように立ち読みを楽しんだものです。

現在は出版をやっているわけですが、新しい本を出し、それが地元紙に紹介されますと、当日や翌日には決まつて「どこに行けば買えますか」という問い合わせの電話がかかってきます。きつと、気軽に出かけられる範囲に書店がない、という人が少なくないからでしょう。出版社にしてみれば、記事になったり、自ら宣伝したりしない限り、いくら出版しようが、なかなか知ってもらえないということでもあります。

妙なたとえですが、若い男女が少なくなつた。だから婚活でもしないと知り合う機会が得られない、という地方の事情とも似ています。

大手取次(本の卸売会社)である、トーハンが去年発表した数字では、

全国に約1900ある自治体のうち、書店が1軒もない自治体は420(香川県を除く)。都道府県別では北海道が全国トップで、道内179自治体のうち書店ゼロが47。今や書店のない自治体の数は、全国的にも2割以上ということになります。

この状況で、紙本が電子書籍が

函館の本をつくりたいが資金がない。そんな事情で最初は電子書籍だけの出版を考えていました。しかし当初は、誰も電子書籍の買い方を知らない、読み方も知らない、それどころか電子書籍そのものを知らない、という状況でしたので、仕方なく紙の本の出版も始めました。販売は函館市内とインターネット。頑張ればある程度は売れる、造本を簡素にす



電子書籍のみ発行の新刊。猫のタマと佐藤国男さんの共著『遮光器土偶は宇宙人ではニャーニャーニャかった』(右)と、日本語の乱れに疑問を投げかける『そろそろ使うのをやめたい現代語辞典』

れば利益率も確保できる、ということとで6年間やってきました。

しかし限られた売場で「売る」とことを考えますと、本の企画そのものが制約を受けますし、「売れるはず」という出版社の思惑通りに売れるほど世の中は甘くありません。しかも紙の本を取り巻く環境は悪化の一途。一方で函館以外の本もつくりたいと思つようになってきました。

そんなわけで昨年末から年初にかけて、「電子書籍だけ。売れることを考えず、つくりたい本を」ということで2点の新刊を制作しました。

うち1点は、縄文研究者でもある木版画家の佐藤国男さんによる縄文の入門書です。「縄文で世界遺産をめざすなら、地元も市民ももっと縄文について知りましょう」という思いもありますし、国境を越えられる電子書籍として、いずれその英語版を発刊するため、現在、その翻訳を進めています。

★プロフィール★

おおにし つよし
大西 剛さん

1959年生まれ、大阪出身。
2011年秋より函館に移住し、「新函館ライブラリ」を設立。
通り一遍の観光客ではなく、コアな函館ファンに訴えるような函館本の出版に取り組むほか、函館のブランド力に頼らない出版企画も模索中。

NPO・市民活動団体紹介のページ

総合型地域スポーツクラブ Bay Walk Community はこだて

■どんな団体？

市民の「だれでも」「いつでも」「どこでも」「なんでも」「だれとでも」「世代を越えて」「好きなレベルで」「いろいろなスポーツ・運動」を「生涯にわたって」「楽しむことができる地域」「コミュニティ」です。会員の一人ひとりがスポーツや運動をするだけでなく「指導する」「支える」「創造する」等いろいろな関わり方をする事で人と人が豊かに繋がりあうことを目的とする自主的スポーツクラブです。

■団体のPR

2008年、文科省の特別支援事業の指定を受け発足。以来、日本スポーツ振興センターならびに函館市教育委員会の助成を受けクラブの基盤づくりをしてきました。

スポーツや運動は健康なひと、若いひと、運動の得意なひとだけのものではなく、様々な障がいを持っていてるひとや人生百年時代をまもなく迎える高齢者等、体力的ハンディを有する人々との共生スポーツ社会を目指し「敬愛」「ふれ愛」「支え愛」の三つの愛をモットーに活動しています。

活動種目はノルディックウォーキング、ペ

タンク、マシンローイング、介護予防エクササイズ、セーリング、カヤック、ボート、クロカンスキー、アルペンスキー、パークゴルフの10種目。会員であればどなたでも好きな時に自由に参加できます。

■会員募集など

会費は年間3千円のみ(家族会員は3人まで4千円)、会員証を提示するだけですべての種目に予約なしで好きな時に参加できます。(参加料不要です)で大変お得なスポーツクラブです。

毎週火曜日午前中、まちセンでマシンローイング、第一、第三木曜日は午前中、ノルディックウォーキングをしますので見学を兼ねておいでください。電話も可。



毎年8月に港で市民カヌー大会に参加



カヤックの集合写真は、大沼でのクラブカヤックデーです。



マシンローイングはまちセンでの毎週火曜日の画像です。



ノルディックウォーキング(木曜、土曜日)



緑の島海面で行うクラブカヤックデー



函館湾でのクラブセーリングデー



水産高校漕艇部員と連携してクラブのボートデー



五稜郭公園でのクラブ歩くスキーデー



まちセンでのクラブ健康体操気功デー



木、土曜日開催のバタンクデーです。

■これからの活動
 スポーツクラブといえども「スポーツの力」を信じ、函館の街が元気になり人生をよりよくたくましく生き抜くことができるひとづくり、まちづくりに寄与していきます。地域課題でもある介護予防、孤独老人への寄り添いをします。

「スポーツでつながるひと・まち・コミュニティ」

総合型地域スポーツクラブ Bay Walk Community はこだて

■代表者名/会長 小澤貢一 ■事務局名/太田千秋 ■会員数/130名
 ■電話/0138-23-2981・090-9433-7689 ■メール sailing_john2010@ybb.ne.jp
 ■Facebook「Bay Walk Communityはこだて」で検索

NPO・市民活動団体紹介のページ

特定非営利活動法人 救命のリレー普及会

■どんな団体？

「函館市民及び近隣市町村の住民に対し、早い通報・早い応急手当・早い救命処置・早い救命医療をリレーするために、救命講習を積極的に行い安心と安全な町づくり、地域づくりを目指し社会福祉の向上に寄与する事を目的としています。」

■団体のPR

目的を達成するために、小学生低学年から高齢者までの幅広い年齢層に救命講習を実施し、要支援認定者や要介護認定者と身体障がい者・その他肢体不自由者・内部障がい者や知的障がい者などの認定された方達を対象に会員登録をして頂き、希望する目的地まで移送する福祉有償運送、さらに函館では初めて認定された函館市及び近隣地域の自主防犯パトロール等を行っています。

■会員募集

・福祉有償運送のオーナー
・広域実施認定の自主防犯パトロール実施者
・などの企業・個人を募集します。
問合せ 田中 正博(0800-60093)

—(9998)まで

■これからの活動

従来の活動の継続と、高齢者社会に不可欠な「福祉有償運送の運転者講習の研修所」を設立します。



AEDを使った救命処置体験



福祉有償運送車



三角巾を使った応急手当

特定非営利活動法人 救命のリレー普及会

■代表者名/田中 正博 ■事務局長/田中りょう子 ■会員数/30名
■電話/0138-57-9150 FAX/0138-57-9150
■メール 1945mt@ncv.jp

NPOワンポイントアドバイス!

「会議」を効果的・効率的に行うことができれば、組織は成長していきます。
 そのためには、会議のタイプ別攻略法を知ることが必要になってきます。
 そこで、前号(43号)に引き続きタイプ別に具体的な攻略法をお伝えしていきます。

3. アイデアを出す会議

「アイデアが出るか出ないかは時の運」ではありません。次のポイントを大切にすると、アイデアは出やすくなります。

- A:** 「何のために、何についてのアイデアを出すのか」を、全員が見える場所に書き出しておく。
- B:** “いつものメンバー”以外に、その分野に詳しい人や違う世代やバックグラウンドを持つ人などにも、積極的に参加してもらう。
- C:** いつもと違う場所や雰囲気のところ、テーマの現場で開催する。
- D:** 「出たアイデアを批判しない」とか「他人のアイデアの真似や便乗も歓迎」といった“安全空間”をつくっておく。
- E:** まず「個人が考える時間」を設けてから、全体で討議する。
- F:** とにかく数多く出す。そして、自分の出したアイデアに固執せず、出された多くの中からベストを選ぶ。
- G:** ホワイトボードや模造紙などに出されたアイデアをどんどん書いていって、可視化する。
- H:** 長い時間をかけて考えるのではなく、短い時間で考えるのを繰り返す。
- I:** 過去や習慣やルールに縛られたり、真面目に考えすぎたりしないようにする。
- J:** 普段からアンテナを高くしておくと同時に、腰を低くして色々な人の話を聞ける人になっておく。

参考:青木将幸著『市民の会議術 ～ミーティング・ファシリテーション入門』ハズオン埼玉出版部



センター長のつぶやき

まちづくりセンター センター長 丸藤 競

平昌オリンピックが終わりました。北海道感を前面に出して一躍人気になった女子カーリングのように、冬季五輪は道産子が活躍することが多いので、テレビ観戦も盛り上がります。

良い結果を残した選手が様に口にしたのが、「チームワークの良さ」や「周りの人達への感謝」だったのも印象的でした。結果を出すためには、どの分野でも様々な人たちの協力や支援が必要なのだ、あらためて教えてもらえました。

その冬季五輪ですが、残念なことに函館出身の選手を見ることができません。

函館よりずっと規模が小さくても、多くの選手を輩出しているまちがあります。常呂のカーリングや、下川町のスノーボード、苫小牧や釧路のアイスホッケーのように、競技場や指導者、地域の人々の支援等の環境が整っていると人が育つことが良く分かった大会でもありました。

環境を整えるというのは、簡単なことではありません。お金も、年月もかかります。しかし、環境がないことで、本当は活躍できたかもしれない才能を開花させられないまま終わってしまうというのは、とても残念です。

そこで大切になってくるのが、自ら環境をつくりだしていくこと。本格的な施設をつくることは難しくても、人や本などとの出会い、様々な体験の機会を増やしていく事で自分の力を開花させることができれば、メダリストと同様の喜びを味わえるかもしれません。



▲くるみボタンのマグネット



▲カフェエプロン

福祉の店
どんぐり
2号店

(まちづくりセンター1階)

新しい年を迎えて、新年の挨拶などに何うと最初に出る言葉は降雪量が多くて大変ですねとの話になります。記録的な豪雪は人命にも関わり、函館においても雪による死亡事故も発生しました。除雪作業で体の節々が痛くて大変、交通量が多くて前に進めなく大変と、悲鳴が聞こえてきます。しかし、確実に春の兆候は表れております。

地域交流まちづくりセンターには、計画的にイベントで来られる方が多いのですが、福祉の店「どんぐり2」が目的で来館される方は少ないです。私たちは、今年もより良い製品づくりに努力し、多くのお客様に喜ばれる店づくりをしております。今年も変わらぬご愛顧を心よりお願い申し上げます。

■営業時間 / 10:00~16:00
■定休日 / 土・日曜日・祝日

製品は、函館市総合福祉センター1階・函館市役所地下売店でも販売しています。

長い冬でしたね。降りすぎる雪を眺めてはため息をつき、道幅が狭くなったそばん道路に肝を冷やし…。

皆さま、お疲れさまでした。自然には逆らえないけれど、春夏はお手柔らかにお願いしたいものですね。

◎春の恒例「マーマレード」の販売
水保の甘夏みかんのマーマレードを今年も仕込みます。この甘夏みかんは、水保病患者さんの家族会が大切に育てました。化学薬品に苦しんだ経験から農業や化学肥料に頼らずに、その分時間や手間を注いで作ったみかん。種とヘタ以外はすべて刻んでお砂糖と少しのレモンを加え、とろりとするまで煮込めばマーマレードのできあがりです。

今年も限定数になりますが、瓶入りを販売いたします。売り上げを、東日本大震災被災地の子どものための保養に取り組む「ほんわか」さんにお渡しします。震災から8年め。まだまだ助けを必要とする方がいらっしゃるのですね。

◎MASAKOのコースター
DripDrop初の試み。手づくりコースターを販売します。コーヒーカップ型をしていて、コースターとしても鍋つかみとしても使えます。珍しい柄の布で、しっかりと縫製されたMASAKOさんの作品は昨年、工芸舎さんでも展示販売されました。ぜひお手に取ってごらんください。

◎コーヒー豆ニューフェイス
1月2日は「キューバ・ツルキーノ・ラバト」「コロンビア・ブカラマンガ・エル・パライズ」とフルーティーでさっぱりした豆が入荷しました。気に入ってくださった方も多く、オーダーをたくさんいただきました。春はまた新しい豆が入荷してきます。フェイスブック、ツイッター、インスタグラムでお知らせしています。

cafe DripDrop★米田尚子



煎りたて珈琲と
地物野菜メインのお食事

cafe DripDrop

カフェドリップドロップ



■営業時間 / 10:00~18:00
■定休日 / 水曜日

ホームページ

<http://handpick.cafe.coccan.jp/>

～まちセンで開催されている講座案内～

興味のある講座があれば、まずは問合せしてみましょう！
 その際に、「はこまち通信見ました」と伝えると、スムーズに進みますよ。

テーマ	講座名	問合せ先	電話番号
お花	小原流函館支部 研究会	真船 道子	0138-55-0100
	小原流いけばな教室		080-1884-0593
	まちっこいけばなこども教室		
	池坊いけばな教室	野呂さとみ	080-2866-1607
手工芸	ヨーロピアンスタイル フラワーアレンジメント講座	オフィスジュリア フラワーデザイン スクール 塚越早季子	011-211-0611
	・チャート式フラワーアレンジメント		
	・フレッシュフラワーレッスン		
	・プリザーブドフラワーレッスン		
書道・ 絵画他	ポルトガル刺繍サークル《hana》	葛西美江子	01374-2-1951
	藤工芸サークル	ささきとよみ	0138-55-8832
	手づくりボランティア工房「エンジョい」	江口峰子	0138-26-3452
	パッチワーク教室	吉田裕子	090-6217-1796
書道・ 絵画他	水墨画教室	山岸桂華	0138-57-1217
	油絵教室	加藤寛之	0138-22-6089 090-9514-9588
	シニアのための 「やさしく楽しい書のつどい」	藤野	0138-27-3403 080-6065-6603
	矢車会書道塾	中井穆風	0138-26-6543 080-6070-4866
	墨友会書道教室	墨友会主宰	0138-84-6603
	・子ども書道教室	青穂（せいすい）	
	・一般漢字書道教室		
	芳心社書道教室（総合書道教室）	磯部芳園 根本浩子	090-7055-2357 0138-23-7046
	まちづくり千絵画教室	ヒロ	0138-45-4387
絵画同好会 イーゼル	藪皓一	090-2073-1559	

テーマ	講座名	問合せ先	電話番号
語学 他	ACTIVE英会話 ・幼稚園 年中、年長 ・小学校 1～3年生、4～6年生 ・中学生 1～3年生 ・英語 d e アート 幼稚園、小学生	ガルシア	0138-76-6725
	フランス語講座	フォードメール パメラ	080-8290-3455
	ハングル講座	チョン・スギ	090-5958-5753
	ネイティブ英会話 6歳～大人まで	ウェイン	090-2816-1590 lusarateaches@gmail.com
	パチパチクラブ ・小学生、中学生、算数英語、高校生数学 ・成人向け英会話	パチパチクラブ事務局 森田実	0123-31-6766 090-2767-5586
	ECCジュニア十字街教室 ・ママと一緒に英語で知育 2～3歳 ・英語、英会話（基礎）クラス 小学1～3年生 ・英語、英会話（初級）クラス 小学4～6年生 ・中学英語強化コース 中学1年生	吉田苑子	0138-27-0367
	健康	エアロ&ストレッチ	ストレッチサークル レラ 杉本梓
かんたん健康教室 ・新トータルリンパケア ・リンパ体操 ・リンパを知ろう学習 ・体験会		中川麻衣子 福田康子	080-4043-3689 080-6099-4691
田中式健康体操 木戸口教室		木戸口静子	080-6080-4183
和風健康体操 柳紀会		佐藤てる子	090-3398-6416
e-YOGA		中谷（なかや）江里	090-4854-4286
そ の 他		大正琴サークル ゴールデンローズ	高松弓子
	タツカのヴォイストレーニング	高島啓之	090-8371-5554
	ピアノ教室（erika piano school）	浅井絵理香	090-4873-5039
	収納と重曹のお掃除講座	丸山信子	090-4870-1334
	橋本祐子きつけ教室	橋本祐子	0138-22-6379

施設利用料金

税込(円)

階	会場名	面積	参考レイアウト		基本料金	
		m ²	形	席数	単価	金額
2階	多目的ホール	272	シアター	約100	1日あたり	10,000円
			スクール	約60		
	研修室A・B	50	シアター	約50	1時間あたり	500円
			スクール	約30		
研修室C	24	シアター	約30	1時間あたり	500円	
		スクール	約20			
3階	会議室A・B	50	シアター	約50	1時間あたり	300円 (一般利用500円)
			スクール	約30		
	会議室C	24	シアター	約30	1時間あたり	300円 (一般利用500円)
			スクール	約20		

※会場には、テーブル、イス、ホワイトボード、空調設備を備えています。※駐車場/2時間無料、超過30分までごとに100円
 ※営利目的(入場料を徴収したり、物品を販売するなど)で使用する場合は、割増料金となります。

備品利用料金

備品名	利用料金
音響機材(研修室・会議室用)	1,000円
音響機材(多目的ホール)	2,000円
プロジェクター	1,000円
スクリーン	500円

※その他、設備等については、ご相談ください。

活動支援費 要相談 不要 1,000円

印刷機使用料金 ※用紙代別

- ① 製版代/1枚……………100円
- ② 印刷枚数/10枚まで……………10円
(以後10枚毎に10円加算となります。)

※例) 12枚/20円、137枚/140円、1543枚/1,550円です。
 ※①製版代+②印刷枚数が必要です。
 ※印刷用紙は各自でご用意ください。また、小銭のご用意をお願いします。

コピー料金

- ① 白黒/B5・A4・B4・A3…1枚 10円
- ② カラー/B5・A4・B4 ……1枚 50円
- ③ カラー/A3 ……………1枚 100円

横断幕プリント/ ポスタープリント料金 ※用紙代含む

- ① 610mm×1.5m……1枚 2,400円
- ② 610mm×3.0m……1枚 2,600円
- ③ 610mm×4.0m……1枚 2,900円
- ④ 610mm×5.0m……1枚 3,200円
- ⑤ A2版(420mm×594mm) 1枚 1,200円
- ⑥ A1版(594mm×841mm) 1枚 1,400円

※横断幕は文字原稿、ポスターはチラシ又はPDF形式で原稿をお持ちください。

■【各施設の使用申し込みについて】

- 利用日時、利用目的をご確認のうえ、TEL.0138-22-9700、または、函館市公共施設予約システムよりお申し込みください。
<https://yoyaku.e-harp.jp/hakodate/>

【お問い合わせ】



函館市地域交流まちづくりセンター

〒040-0053 北海道函館市末広町4-19

TEL.0138-22-9700 開館時間 AM9:00～PM9:00

FAX.0138-22-9800 休館日 年末年始(12/31～1/3) ※器材点検のため月1回程度臨時休館する場合があります。

ホームページ <http://hakomachi.com/> 函館 まちセン

【指定管理者】NPOサポートはこだてグループ